

(一般質問)

質問日	令和3年12月1日(水)		質問方式	分割方式			
質問順位	3	会派名	党派を超える会	議席番号	12	氏名	鈴木 唯記子
表題	質問内容						答弁者の職名
1 多頭飼育崩壊に対応する仕組みづくりについて	<p>全国的に問題となっている犬や猫などの多頭飼育崩壊は、本市においても発生しており深刻である。他都市と比較しても、もともと本市動物愛護教育センター職員の人数が少ない中、動物愛護管理法の改正の対応も含め、業務は増大している。</p> <p>発生状況から見て、多頭飼育崩壊・ごみ屋敷・福祉サポートは、高い率で関連しており、動物愛護教育センターだけでは解決に至ることが難しいことから、他部局と連携した新たな仕組みづくりが求められる。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 動物愛護教育センター設立当時よりも深刻化している昨今の動物行政を取り巻く変化に対する現在の考えについて伺う。</p> <p>(2) センターの増員を含めた組織体制の強化について伺う。</p> <p>(3) 愛知県豊田市では「豊田市不良な生活環境を解消するための条例」の施行により、環境保全課が主軸となりシームレスな部局間連携を可能にしている。こうした仕組みの必要性和連携の在り方について、どう考えるか伺う。</p>						長田副市長 " 藤田環境部長
2 ごみ対策の今後について	<p>10月に環境審議会より、家庭ごみ有料化に関する答申がされたところである。その中で最も重要なことは、市民への周知であるとされている。</p> <p>まずは、なぜ有料化の検討がされることになったのか課題と現状をしっかりと示し、市民に周知する必要がある。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 家庭ごみ有料化の検討について伺う。 ア 有料化の検討に至った経緯と現状、環境審議会の答申を含めた本市の考えについて伺う。 イ 上記の点に関する周知方法について伺う。</p> <p>(2) 現在行われている紙容器リサイクル実証実験の概要と今後の活用について伺う。</p>						藤田環境部長
3 江之島ビーチコート施設を最大限に活用する方法について	<p>全国最大規模となる本市江之島ビーチコートは、コート面数等その規模に注目が集まっているが、アクセスがよい本市に常設の施設があるという事実が重要で、施設を最大限に活用するため、各競技団体は完成後を視野に、大会・合宿誘致を進めている。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 江之島ビーチコートの整備計画の進捗状況について伺う。</p>						中村文化振興 担当部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	(2) 施設を拠点とした人材育成について伺う。	
4 教職員の安定的な確保について	<p>コロナ禍において、教育現場には新たな課題が全国的に増加している。また、学校現場では本来求められている責務と併せ、複雑化・多様化する児童・生徒の悩みを受け止めるための職員体制が必要となっている。そのためには、新規採用教員とベテラン教員それぞれの確保が重要になると考える。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 教職員の退職後における再任用の状況とそれに対する認識について伺う。</p> <p>(2) 法改正により定年延長が段階的に実施される10年間の人材確保の考え方について伺う。</p>	花井教育長
5 路線バスを活用した観光について	<p>コロナ禍において、公共交通機関は自粛やテレワーク、マイカー通勤等で利用者が減少したことから、特に路線バスは減便や廃路線が生じ、不便になったとの声を聞く。</p> <p>観光バスのような大型バス事業と異なり、路線バスは目的・場所・時間が違う人を乗せることから、乗車率を上げることは非常に難しい。</p> <p>本市では、旧元城小学校跡地遺構発掘調査事業が行われている浜松城址をはじめ、地域文化の継承も含め、全域に文化財があると言える。</p> <p>文化財と照らし合わせることにより、路線が「観光」という目的を持ち、通勤通学だけではない利用が期待できる。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 大河ドラマと関連した地域の掘り起こしについて伺う。</p> <p>(2) バス停の名前にしか残っていない、本市ゆかりの地名について伺う。</p> <p>(3) バス・電車券等を活用した周遊の考えについて伺う。</p>	<p>中村文化振興担当部長</p> <p>〃</p> <p>鈴木観光・ブランド振興担当部長</p>